

142 オオリリ

(スズメ目)

兵庫県ランク:要注目

Cyanoptila cyanomelana

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州、四国、九州では夏鳥。兵庫県では主に4-10月に見られる。丘陵地から山地の沢沿いの広葉樹林や針広混交林に生息し、崖の窪みや樹洞などに椀型の巣を造り営巣する。時に建物の軒に造ることもある。飛んでいる昆虫類をフライングキャッチして食べる。春秋の渡りの時期は、低山の林を通過するが、平地の都市緑地で見られることも少なくない。



写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、(市川町)、神河町、(太子町)、(上郡町)、佐用町、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
ほぼ県内の全域に渡来・繁殖しているが、繁殖場所である丘陵から山間の落葉広葉樹林の減少に伴い、近年は個体数が減少している。古くには平地の社叢林でも繁殖例がある。春秋の渡りの時期には、自然環境の残る落葉広葉樹を含む林があれば平地の都市緑地にも生息する。都市における樹林地の自然再生の指標種としても大切である。

保護上の留意点

山地から丘陵地、平地における自然環境の残る落葉広葉樹林の保全・再生が重要。